



おおにしの笑顔

第4号 令和4年6月22日

文責 恩田

- ◎ もいやりのある正しい子
- ◎ おきな声であいさつする子
- ◎ なんと強くかしこい子
- ◎ しっかり体をきたえる子

6月8日朝会の話「学校のプールについて」～日本の学校にはなぜプールがあるのか?～

6月8日はちょうどプール開きの日であり、今年のプールは3年ぶりであることから、朝会で学校のプールについての話をしました。

冬の間汚れていたプールを、体育委員会の人・6年生のみんな・先生たち全員で、一生懸命掃除をしてきれいにしてくれました。**何かができるときには、いつも知らないところで誰かが一生懸命頑張っているのです。**頑張ってくれた人にはありがとうを言いたいですね。

さて、プールが大好きな人、多いと思います。プールの授業はとても楽しく、水泳というのは、全身を使って運動をするので、健康的な体作りにもとても良いといわれています。でも、水の中での運動なので、ちょっとした悪ふざけから思わぬ事故が起きたり、危険な目にあったりもします。ですから、プールの授業の時には絶対に先生の話をよく聞いてください。3年ぶりの、しかも、コロナ禍でのプールということで、特に気をつけてください。プールではマスクを外すので、友達と距離をとり、絶対に声を出さないこと…。これは、皆さんと先生たち、**みんなの命を守るためなので、絶対に守りましょう。**約束を守ってくださいね。

ところで、日本には、ほとんどの学校にプールがあり、水泳の授業があります。でも、それは、世界の中ではとても珍しいことなのです。日本以外の他の国々には、公立の小学校や中学校にはプールはなく、水泳の授業はないのが普通だそうです。だから、他の国の人たちは、「日本の学校はプールがあるなんてすごい、うらやましいなあ」と思っているのだそうです。

では、なぜ日本の学校にはプールがあって、水泳の学習をするのでしょうか。日本という国は、まわりを海で囲まれている島国で、川もとても多いので、昔は川を渡るのに泳ぐしかないということもありました。そのため、昔から「水練」という泳ぎ方を学ぶ時間があり、海や川で練習をしていました。しかし、約70年前に船の衝突事故で100人以上の子供が亡くなったり、海で泳ぎの練習をしている時に、子供が溺れて亡くなる事故があったりしたために、日本中の学校でプールがつけられるようになったのだそうです。

学校のプールは、海や川と違って「約束を守っていれば」**怖いことはありません。**また、最初にも言いましたが、水泳は健康な体作りのためにとてもいい運動なので、泳げるようになるといいこと尽くめです。

今年は3年ぶりのプールです。まずは、「**水に慣れて、水と親しむ**」、つまり「**水と友達になる**」ことをめあてに、約束を守って楽しく安全なプールの学習をしましょう。



<6年生プールの様子 きちんと約束を守っています>

体育館で音楽集会

6月7日に、非常に久しぶりに体育館で音楽集会を行うことができました。全校で「ビリーブ」や校歌を歌ったり、校歌についてのクイズを出したりしました。全校一緒に歌う歌声はとても素敵で、感動しました。

※西小の校歌は、西小の目標の「なかよし、きぼう、げんき」について歌っています。

※6月から、清掃の時間に、今年の6年生の校歌の歌声を流しています。



<校歌クイズを行う音楽委員>

二者面談お世話になりました

保護者の方と直接お目にかかり子供たちのことを話し合えたことは、非常に有意義であったと担任一同喜んでおります。話し合った内容を今後の教育活動に活かして参ります。お世話になりました。